

選挙啓発高校生出前講座（北海道札幌稲雲高等学校）報告

1 日 時

平成30年12月11日（火）6校時～7校時（14：00～15：40）

2 場 所

北海道札幌稲雲高等学校 第1体育館

3 対象者

1年生 280名

4 実施主体

北海道選挙管理委員会

札幌市選挙管理委員会

手稲区選挙管理委員会

5 内 容

時 間	内 容
14:05～14:35	【選挙に関する講義】
14:35～14:45	【選挙啓発クイズ動画上映】
14:55～15:35	【模擬投票】 ○ テーマ「被選挙権年齢について」 ・被選挙権年齢を「現行どおり」「十八歳以上」「学生は除外するなどの一定の条件を付した上で、18歳以上」、「25歳以上」にすべきと主張する4名の候補者を立て、事前に候補者の主張を記載した選挙公報を生徒に配布。いずれの候補者の主張に賛成するか模擬投票を実施。
15:35～15:40	【開票結果発表、まとめ】

6 実施風景

【選挙に関する講義】



まず最初に、選挙権、選挙運動、若者の投票率の状況を説明し、投票参加の意義について講義を受けました。

【模擬投票】

記載台、投票箱等は実際に使用しているものを札幌市選管からお借りし、実際の選挙と同じ環境で投票を体験しました。

初めての投票体験に、生徒は若干緊張している様子でした。



開票の結果、被選挙権年齢を「25 歳以上」にすべきと主張した「稲日葉」候補が 80 票で最多得票となりました。

